

報道関係各位

大気イオン濃度測定器 富士通沼津工場でも稼働開始

～震災対策技術展に出展、阪大とも提携～

NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO(理事長：^{わだつみ きよし}弘原海 清 =大阪市立大学名誉教授、事務局：大阪市西区)では、大気イオン濃度の急上昇が大地震の有力な前兆現象と考え、大気イオン濃度測定器の研究開発および全国展開を進めてきました。このたび、測定器の開発が最終段階を迎え、東海地震震源域近傍の富士通株式会社沼津工場(静岡県沼津市)においても稼働を開始しました。この測定器は 2006 年 2 月 2～3 日、横浜市で開催される第 10 回震災対策技術展において展示致します。また、同技術展の出展に当たっては、大阪大学環境電磁波観測ネットワークとも共同出展し、異なる地震予知技術を持つ 2 団体の提携を実現しました。さらに、これらの活動成果を報告すべく、2 月 4 日、東京・神田において弊社主催講演会を開催致します。報道各位には、ご多忙中恐縮ではありますが、本件の周知ならびに技術展、講演会の取材を賜れば幸いです。

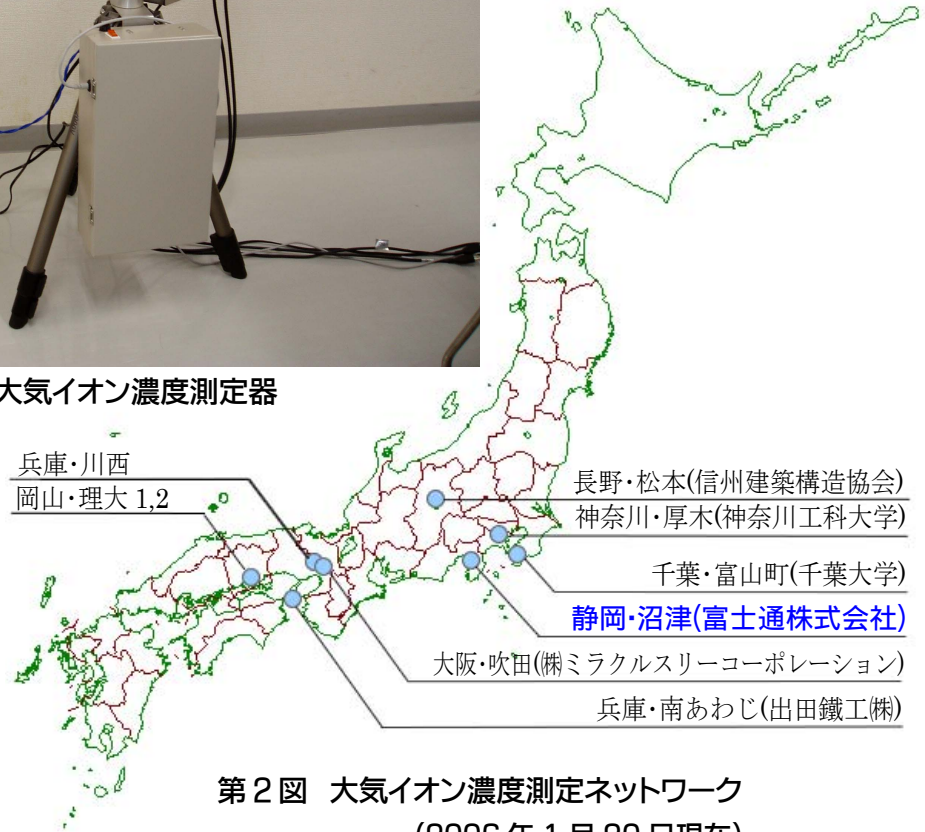
大気イオン濃度測定器、富士通沼津工場稼働開始

阪神・淡路大震災を引き起こした 11 年前の兵庫県南部地震では、神戸市東灘区で測定していた大気イオン濃度が、地震の 9 日前に急上昇していたことが薩谷泰資氏によって報告されています。NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO では、2004 年 4 月の設立以来、オゴー開発株式会社や有限会社 ePI-NET 環境・情報ネットワーク総研、岡山理科大学とともに独自の測定器開発を進めてきました。精密機械であるが故、改良には苦慮を重ねましたが、このほど開発が最終段階に達し、大気中のプラスイオン濃度をほぼ正確に測定できるようになりました。開発途上においても、既設 8 測定点のネットワークで、紀伊半島南東沖地震(2004/09/05、M7.4)や新潟県中越地震(2004/10/23、M6.8)、福岡県西方沖地震(2005/03/20、M7.0)等の前兆を捕捉することに成功しています。

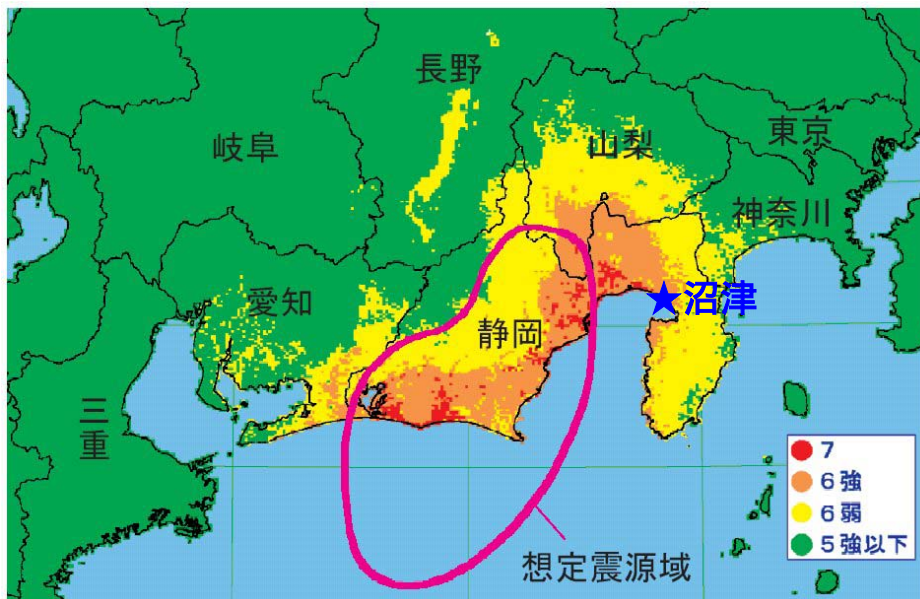
弊社では、測定点ネットワーク増強の一環として、2005 年 10 月 31 日に富士通株式会社沼津工場(静岡県沼津市)に大気イオン濃度測定器を設置、2 か月半にわたる試行運転を経て、このほど稼働を開始しました。沼津市は東海地震の想定震源域東側に位置しており、東海地震が発生した場合、震度 6 強～7 の揺れに襲われると推定されています(中央防災会議、2001 年)。東海地震の最前線に大気イオン濃度測定器を設置することは、地域の防災を考える上で極めて有意義です。また、既設の神奈川・厚木市(神奈川工科大学)、千葉・富山町(千葉大学)の両測定点とともに、首都圏直下型地震をはじめとする関東・東海地方で懸念される地震の予知にも有効であると考えております。



第1図 独自開発の大気イオン濃度測定器



第2図 大気イオン濃度測定ネットワーク
(2006年1月20日現在)



第3図 東海地震の想定震源域・震度分布図および沼津市の位置
(中央防災会議に加筆)

震災対策技術展(横浜会場)出展～阪大とも提携

NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO では、オゴー開発株式会社や有限会社 ePI-NET 環境・情報ネットワーク総研、岡山理科大学とともに独自開発した大気イオン濃度測定器等を内包する「e-PISCO 環境防災情報モニターハウス」を第 10 回震災対策技術展(横浜会場)に出展致します。弊会のブースは、大阪大学環境電磁波観測ネットワークやオゴー開発株式会社、株式会社ミラクルスリーコーポレーションほか数社との共同出展のスタイルを取っています。

このうち、大阪大学の環境電磁波観測ネットワーク(山中千博助教授他)とは、地震前の物理的な前駆現象のデータ收拾とそのデータ公開を行うために、双方で協力を進めていくことにしています。異なった手段による多地点の環境測定データを、衛星通信で結ぶことをはじめとして、測定データを共通の分析、公開手段に載せていく予定です。e-PISCO としては複合的な物理情報の收拾とその統括的な分析により、将来における大規模地震の予知可能性を追求していく計画です。

このほか、オゴー開発株式会社には防災対応 LED 街路灯を、株式会社ミラクルスリーコーポレーションには災害後の避難施設を展示していただき、全体としては「最新の地震予知研究から防災対応、災害後までをカバーする環境に優しいブース」となっています。

ブースのご案内(第 103 ブース)

【出展者・代表製品】

NPO 法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO http://www.e-pisco.jp/ 有限会社 ePI-NET 環境・情報ネットワーク総研 http://www.epi-net.co.jp/	e-PISCO 環境防災情報モニターハウス (大気イオン濃度測定器、地震関連環境電磁波測定器を内包)
大阪大学環境電磁波観測ネットワーク http://ammonite.ess.sci.osaka-u.ac.jp/ 東洋メディック株式会社 http://www.toyo-medic.co.jp/	地震の前兆現象研究と 環境電磁波観測ネットワーク
オゴー開発株式会社 http://www.ksk-ogo.co.jp/	バッテリーバックアップ型防災対応 LED 灯
株式会社ミラクルスリーコーポレーション http://www.miracle3.co.jp/	団地再生・避難施設とバリアフリー

技術展のご案内

日時	2006 年 2 月 2 日(木)・3 日(金) 両日とも 10 時～17 時
会場	横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) 展示ホール 横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1-1
主催	(財)神戸国際観光コンベンション協会、(財)神戸市防災安全公社
URL	http://www.exhibitiontech.com/etec/

e-PISCO 地震予知講演会 in 東京 “地震から命を守るために”

NPO 法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO では、これまでの活動成果および今後の展望を一般の方々にご報告し、e-PISCO の活動を広めるために、2月4日(土)午後、東京・神田において講演会を開催致します。開催概要およびプログラムは下記のとおりです。

開催概要

日時	2006年2月4日(土) 13時30分～15時30分
会場	情報オアシス神田 オアシス4 東京都千代田区神田多町2-4 第2滝ビル5階
主催	NPO 法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO
後援	神奈川工科大学
参集範囲	どなたでもご参加いただけます。
聴講料	無料
その他	聴講希望の方は1月31日(火)までに、弊社事務局まで、聴講者全員のお名前、おところ、電話番号、電子メールアドレスをご連絡ください。

プログラム

総合司会 原口 竜一		
13:30～14:10	弘原海 清	多地点イオンデータによる海溝型・直下型地震の直前予知
14:10～14:25	出田 勇亀一	淡路島での地震予知の取り組み ～東南海・南海・中央構造線地震の最前線から～
休 憩		
14:35～15:15	矢田 直之	神奈川工科大学における地震予知の試み ～地電位、大気イオン、ナマズ～
15:15～15:30	質疑応答	

- ※ 弘原海 清…弊社理事長、大阪市立大学名誉教授、断層研究資料センター理事
- ※ 出田 勇亀一…弊社理事、出田鐵工株式会社代表取締役
- ※ 矢田 直之…神奈川工科大学工学部助教授
- ※ 原口 竜一…弊社理事、有限会社 ePI-NET 環境・情報ネットワーク総研代表

以上

本リリースの問い合わせ先

NPO 法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

理事(事務局長) 岡本 和人

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目4-21

日宝肥後橋中央ビル304号

Tel/Fax : 06-6444-3781 E-mail : npo@e-pisco.jp

※2月1日～4日までは事務局が不在になりますので
携帯 080-5236-6409 までご連絡ください。